

1965年同定会の蛾について

楳 本 清 二

去る8月29日(日)に倉敷昆虫館で行なわれた1965年度同定会で、当昆虫館未展示種が多かったので参考記録として報告します。本年は蛾の同好者が増加して熱心な採集活動の結果、岡山県未記録種が8種も出る有様で、来年の同定会が大いに期待される。

記

スズメガ科 SPHINGIDAE

1 ヒメスズメ

Deilephila askoldensis Oberthür

岡山県未記録 詳細は採集者赤枝一弘氏より発表される予定。

ヤガ科 NOCTUIDAE

2 オオカブラヤガ

Agrotis tokionis Butler

K・5・1964 倉敷市旭町 田辺恆彰採集 北部一円 苫田(津山)(1); 津山市 11月中旬(2)の記録あり。

3 シロシタヨトウ

Mamestra illoba Butler

V・14・1965 倉敷市美和町 田辺恆彰採集 加茂村阿波大ケ仙・鏡野町中平・津山市(2)の記録あり。普通種。

4 ハジマヨトウ

Rambusithila vulgaris Butler

Ⅶ・28・1965 倉敷市幸町 田辺恆彰採集 北部一円 勝田(赤坂山)(1)の記録あり。局地的に産す。

5 オオチャバネヨトウ

Noagriana tingeleri Schwarz

Ⅷ・5・1965 倉敷市幸町 田辺恆彰採集 岡山県未記録。前翅長25mm。♀

1958年7月14日長野県東筑摩郡明科町で1♀が発見され、以後北海道北見国紋別・釧路国標茶山ニツ山・十勝国上士幌町糠平(4); 北九州市八幡区折尾5)につく全国第4番目の記録。一見シャチホコガ科の蛾を思わせる長大な脚を有している。北海道東部では原記載以後初めて8が発見され、かなりの分布が予想されている。

6 モクメカラスヨトウ

Perinoenia occipiter lignosa Butler

X・12・1964 倉敷市旭町 田辺恆彰採集 津山市 4月中旬(2)の記録あり。少ない。

7 アミメコヤガ

Stenoloba confusa Leech

Ⅶ・20・1965 新見市新見 岡本 忠採集 北部一円 勝田(那岐山)(1); 津山市 6月下旬(2); 津山市黒沢山(3)の記録あり。少ない。

8 オニベニシタバ

Catocala dula Bremer

Ⅷ・23・1965 新見市新見 岡本 忠採集 県下一円 岡山(三門)・阿哲(丹治部)(1)の記録あり。1963年の同定会にも1exを同定した。

9 マメキシタバ

Catocala duplicata Butler

Ⅶ・18・1965 新見市神代 大橋英雅採集 岡山県未記録。広島県では採集記録あり。稀でない。

10 カバフキシタバ

Catocala mirifica Butler

Ⅶ・18・1965 新見市神代 大橋英雅採集 北部一円 阿香(新砥)(1)の記録あり。稀な種である。大橋君の話では倉敷市中最でも1ex。

採集しているとのことである。

11 アサマクビグロクチバ

Lycebiola milcomae Butler

Ⅲ・18・1965 折見市神代 田辺恆彰採集
津山市大谷 7月2旬(2)の記録あり。多くない種。

シヤチホコガ科 NOTOCEONTIDAE

12 ギンモンズズメモドキ

Tarsolabis japonica japonica
Wilemon et South

Ⅲ・18・1965 折見市神代 大橋英雅採集
県下一円 阿哲(折見)(1); 津山市 8月末(2)の記録あり。

13 ウスイロギンモンシヤチホコ

Statalicodes doerriesi doerriesi Graeser

Ⅲ・15・1965 川上郡浦中町弥高山 高岡元章採集
津山市 6月下旬(2); 津山市黒沢山(3)の記録あり。

14 クロツマキシヤチホコ(改称)

Phalera mimr Nagano

Ⅲ・12・1964 倉敷市旭町 大橋英雅採集
岡山県未記録 タカサゴツマキシヤチホコに混じて採れたもの。コツマキシヤチホコと言っていたのを改称(7)

ドクガ科 LYMANTRIIDAE

15 スゲオオドクガ

Laelia gigantea Butler

Ⅲ・15・1965 川上郡浦中町弥高山 高岡元章採集
津山市黒沢山(3)の記録あり。

トガリバガ科 THYATIRIDAE

16 ホシボシトガリバ

Demopsstis fuctigera Butler

Ⅲ・25・1965 1ex.; IV・18・1965 1ex
倉敷市美和町 田辺恆彰採集
岡山県未記録

シヤクガ科 GEOMETRIDAE

17 クロスジアオシヤク

Geometra (Megalochlora) valida C.
et R. Felder Ⅶ・3・1960

阿哲郡大佐町柳瀬 赤枝一弘採集

市部一円 尾崎(松江)・倉敷・県下一円
吉備(久代)・波口(安光)(1); 津山市 6月
下旬(2); 津山市黒沢山(3)の記録あり。普通種。

18 ハラアカアオシヤク

Chlorissa anthritaria Oshthor

Ⅲ・13・1965 1ex. Ⅹ・23・1964 1ex.
倉敷市美和町 田辺恆彰採集
津山市大谷 7月(2)の記録あり。

19 ヒロバトガリナミシヤク

Cariga irrorata Butler

Ⅲ・4・1965 折見市井倉 田辺恆彰採集
岡山県未記録

20 ヒゲブトナミシヤク

Smeris nemaris Loeb

Ⅲ・21・1965 倉敷市旭町 田辺恆彰採集
岡山県未記録 普通種

21 ホソバトガリエダシヤク

Plomciamba modesta Butler

Ⅲ・25・1965 倉敷市美和町 田辺恆彰採集
岡山県未記録 春の蛾で多産する。

マドガ科 THRIDIDAE

22 モリヤママドガ

Herdonia osacesalis osacesalis Walker

Ⅲ・7・1965 児島市大池 筆者採集
Ⅳ・22・1965 倉敷市旭町 田辺恆彰採集
岡山県未記録 少ない種である。
東京・京都・大阪・兵庫(8); 新潟市(9); 北九
州市八幡区折尾(10); 下関市(12); 広島市(13); 呉
市(14)の記録あり。

メイガ科 PYRALIDAE

23 ツマグロシマメイガ

Bostra indicator Walker

Ⅳ・27・1965 倉敷市美和町 大橋英雅採集
津山市 7月下旬(2)の記録あり。あまり多く
ない種である。

24 ギンボシシマメイガ

Hirayamaia regalis Loeb

Ⅲ・18・1965 折見市神代 田辺恆彰採集
県下一円 真庭(勝山)(1); 津山市大谷 7
月上旬(2); 津山市黒沢山(3)の記録あり。別合に
少ない種である。

≈ 参 考 文 献 ≈

- (1) 岡山県：岡山県内生物目録，1930
 (2) 片山豊八：美作雄蝶目録，岡山と昆虫，1959。
 (3) 片山豊八：黒沢山蛾類一覽(第一報)，美作の自然，(6)：7-13，1960
 道信 順：黒沢山「蛾類一覽」について，美作の自然，(7)：36-38，1961
 (4) 飯島一郎・杉繁郎：オオチャバネヨトウの雄発見，蛾類通信，(27)：142-143，1962
 (5) 河村 忠：福岡県北部の注目すべき蛾類，蛾類通信(30)：196，1962
 (6) 中村眞吾：広島県北部山地の蛾類(第1報) 比和科学博物館研究報告(4)：9-19，1961
 (7) 中村眞直：最近の図鑑にみられるシャチホコガ科の誤り，蛾類通信(35)：276，1964
 (8) 井上寛外：原色昆虫大図鑑 I (蝶蛾編)，北隆館，1959
 (9) 佐藤刀夫：モリヤママダガの産地，蛾類同志会通信(14-15)：136，1958
 (10) 河村 忠：福岡県八幡市周辺のエビ類(2)，北九州の昆虫 6(1)：27，1959
 (11) 河村 忠：モリヤママダガの九州第2の記録，蛾類通信(33)：246，1963
 (12) 有田 盛：山口県下関市の蛾類目録(1)，北九州の昆虫 7(1)：4-29，1960
 (13) 中村眞吾・中村豊二・清水健一：広島市とその周辺の蛾類目録，比和科学博物館研究報告(6)：9-18，1963
 (14) 保田信紀：呉市付近の蝶蛾類雑記，広島虫の会会報 (2)：9-11

岡山県の蛾 (7)

横 本 精 二

今回はトラガ科・オビガ科・イカリモンガ科の三科について申し上げます。

トラガ科 AGARISTIDAE

中型の蛾でよく昼間花に飛来し活潑に飛び廻るものと、夜間灯火に集るものとある。過去の文献から、我が国には6種を産することが知られ、全部図示されている。また岡山県にはこのうち5種を産し、我が国昆虫館には4種が陳列されている。その目録はつぎのとおりである。

記

1 トビイロトラガ

Seudya subflava Moore

63-10: 2912: 2514

V・24・63 倉敷市米町 山越 司郎

VI・29・64

2 ベニモントラガ

Seudya venusta Loach

63-11: 2913: 2515

VI・29・1965 新見市正田 横本 精二

岡山県未記録 灯火に飛来したもの。本州では少ないようである。甲州地方では広島県に

VI・18・1956 帝釈峽 中村眞吾(1)

の記録がある。

3 トラガ

Chelonomorpha japona japona Motschulsky

63-13: 2917: 2512

V・26・63 真庭郡新庄村高下 重井 博

筆者も VI・2・65 阿哲郡神郷町三坂で1 ex を採集した。

4 コトラガ

Mimusemia persimilis Butler

63-14: 2916: 2518

VI・16・63 新見市足立 青野 孝昭

展示品以外に岡山県に産することが知られているものは

1 ヒメトラガ

Asteropetes noctuina Butler

阿哲郡萬歳村(1)・津山市(2)・津山市黒沢山(3)の記録があり県北部山地に産する。

岡山県未記録種については

マイコトラガがあり、マイコトラガは1928年新見新田として発表されて今日までに北海道札幌市(原産地)・新潟県蒲原郡津川町(7)・静岡県賀茂郡河津町大滝温泉(8)しか記録がなく非常に稀なものと思われる。

未記録種については何れも目下のところ採集の

町産としない。

記

オビガ科 EUPTEROTIDAE

我が国には2亜種2種を産することが知られ、全部図示されている。過去の記録では岡山県内に1亜種1種を産することが知られていたが、我が国昆虫同好会員の熱心な採集活動により1亜種1種を追加することが出来た。これは岡山県未記録だけでなく中国地方未記録種であるのでここに報告し、採集者に敬意を表する次第である。

スカシオビガ亜科

Subfamily PRISMOSTICTINAE

1 スカシオビガ

Prismosticta hyalinata Butler

119-3:1625

IV・29・64 真庭郡川上村蛇ヶ山 重井博 県内・中国地方未記録種 産間さむらより引き出したもの

オビガ亜科

Subfamily EUPTEROTINAE

1 オビガ

Apha tychoona tychoona Butler

119-4:1624

昆虫館には県内産の展示品はないが、御津郡金山(1)・真庭郡美川村(1)・真庭郡川上村(2)の記録があり、会員赤枝一弘は阿哲郡大佐町布瀬(9)で、渡部太郎は津山市黒沢山で採集されているので、県中部以北の山地に多数産するものと認められる。

イカリモンガ科

CALLIDULIDAE

小型の蛾で、昼間樹下を飛び廻り、蝶の様に翅を立てて止る。我が国には2種を産し、2種とも図示されている。過去には1種を産することが過去の文献で知られ、我が国昆虫館にも1種が展示されている。その目録はつぎのとおりである。

1 イカリモンガ

Pterodecta felderi Bremer

120-1:1618

V・26・63 真庭郡新庄村 青野 孝昭

W・30・63 “ 重井 博

X・13・63 吉備郡沼和町 楠田 雲居

W・12・64 英田郡西栗宮村若杉 榎 本清二

中部以北の山地に多数産する。

県内未記録種のベニイカリモンガは九州中部・四予島・屋久島・奄美大島・石垣島・沖縄に分布を持つ熱帯種で、高田県下からも2種が記録されている。県内での採集は不可能である。

≈ 参 考 文 献 ≈

- 1 昭和5年 岡山県内生河目録 岡山県
- 2 昭和34年10月15日 「岡山と昆虫」 片山豊八 実作産産録目録
- 3 1960・11・23 実作の自然一第6号 片山豊八 黒沢山採集記-黒沢山蛾類一覽表(第1報)
- 4 1961・11・23 実作の自然一第7号 道信 順 黒沢山「蛾類一覽」に続いて
- 5 北隆館(1959) 原色昆虫大図鑑I(蝶蛾類編)
- 6 保育社(1958) 原色蛾類図鑑(下)
- 7 杉 繁郎:マイコトラガ本州(新潟県)に産す・蛾類同志会通信(14-15):136, 1958
- 8 岩田一彦:マイコトラガを伊豆大滝温泉で採集・蛾類通信(27):134, 1962
- 9 赤枝一弘:県下で採集した蛾・すずむし14(2):3, 1964
- 10 河上友三:四國の蛾について(2)・蛾類通信(21):33-35, 1960
- 11 中村真吾:広島県北部山地の蛾類(第1報), 比和科学博物館研究報告(4):9-19, 1961

追 記

最近県下の蛾の採集を志す人が増加し、未記録種や珍しい採集が行われており、真を思つて産する手立てであるが、皆様の採集品目録をどしどし投稿下さることをお願いします。

高梁市産蝶類目録

蝶 本 誌

県内に産する蝶類の分布資料は、青野、赤枝氏をはじめ、多くの方々から示されてきた。筆者もここで、すずむし紙上をかりて、これまでに高梁地区で記録したものをまとめて発表させていただきます。(昨年津川地区で記録したものを中心に)

HESPERIIDAE

セセリチョウ科

1. *Erannis montana* Bremer
ミヤマセセリ
巨瀬町尾谷 2exs., IV. 20. 1963
津川町今津 1ex., IV. 14. 1964
2. *Parnio tethys* Ménétriés
ダイミョウセセリ
玉川町玉 1ex., VII. 3. 1962
玉川町神崎 1ex., VII. 7. 1963
津川町佐与谷 3exs., IV. 29. 1964
3. *Chocstes benjamini* Guérin
アオバセセリ
玉川町玉 1ex., V. 11. 1963
津川町佐与谷 1ex., IV. 29. 1964
4. *Aeronechus inachus* Ménétriés
ホンチヤバナセセリ
玉川町玉 1ex., VII. 27. 1959
5. *Thoressa varia* Murray
コチャバナセセリ
津川町今津 2exs., IV. 27. 1964
津川町佐与谷 2exs., VII. 21. 1964
6. *Isoetes lambrosipus* C. & R. Felder
ホソバセセリ
津川町佐与谷 4exs., VII. 21. 1964
7. *Thymelicus sylvaticus* Bremer
ヘリダロチセバナセセリ
玉川町神崎 1ex., VII. 7. 1963
8. *Ochlodes aetherea* Bremer
ヒメキマダラセセリ
津川町今津 1ex., V. 25. 1964
津川町今津 2exs., VII. 11. 1964
9. *Patanthus clemens* Murray
キマダラセセリ
津川町今津 1ex., VII. 11. 1964

- 玉川町玉 1ex., VII. 17. 1964
10. *Polystremis tellucida* Murray
オオチャバナセセリ
津川町今津 1ex., VI. 16. 1964
津川町今津 3exs., VII. 11. 1964
 11. *Pemora guttata* Bremer & Gray
イチモンジセセリ
津川町今津 1ex., V. 25. 1964

PAPILIONIDAE

アゲハチョウ科

12. *Pieris alcinus* Kluy
ジャコウアゲハ
津川町今津 1ex., IV. 14. 1964
津川町今津 2exs., VII. 11. 1964
13. *Graebium serpedon* Linné
アオスジアゲハ
津川町きつね谷 1ex., V. 25. 1964
玉川町神崎 1ex., VII. 2. 1964
14. *Papilio machaon* Linné
キアゲハ
津川町今津 1ex., IV. 27. 1964
玉川町神崎 1ex., VII. 2. 1964
15. *Papilio xuthus* Linné
アゲハ
巨瀬町 2exs., IV. 23. 1964
津川町今津 1ex., V. 6. 1964
16. *Papilio meucilentus* Janssen
オナガアゲハ
津川町佐与谷 2exs., IV. 29. 1964
津川町今津 2exs., VII. 25. 1964
17. *Papilio protenor* Cramer
クロアゲハ
津川町佐与谷 2exs., 29. 1964
津川町今津 2exs., VII. 25. 1964
18. *Papilio helemus* Linké
モンキアゲハ
玉川町神崎 2exs., VII. 25. 1964
19. *Papilio hienor* Graven
カラスアゲハ
津川町佐与谷 1ex., IV. 29. 1964

- 津川町神崎 1ex., VII. 26. 1964
20. *Pastilio morchii* Menétrics
ミヤマカラスアゲハ
津川町佐与谷 2exs., IV. 29. 1964
(これは同行の吉田氏の採集せられたもの)
津川町今津 1ex., VII. 25. 1964
- PIERIDAE シロチヨウ科
21. *Eurema hecabe* Linné
キチヨウ
津川町今津 2exs., IV. 14. 1964
玉川町玉 1ex., VII. 17. 1964
22. *Eurema lecta* Disdoul
ツマグロキチヨウ
巨瀬町尾原 1ex., V. 7. 1963
津川町きつね谷 1ex., IV. 20. 1964
玉川町玉 1ex., V. 5. 1965
23. *Gnetteryx mabuchi* Gistel
スジボソヤマチヨウ
玉川町玉 1ex., III. 30. 1960
玉川町玉 3exs., K. 30. 1962
津川町今津 2exs., V. 29. 1964
玉川町神崎 1ex., VII. 26. 1964
24. *Colias erate* Esper
モンキチヨウ
津川町今津 1ex., IV. 14. 1964
臥牛山 1ex., V. 31. 1964
松原町榎木 1ex., VII. 30. 1964
25. *Anthoeris scolymus* Butler
ツマキチヨウ
津川町佐与谷 4exs., IV. 29. 1964
26. *Pieris ratap* Liné
モンシロチヨウ
津川町今津 2exs., IV. 14. 1964
臥牛山 1ex., V. 31. 1964
玉川町玉 1ex., VII. 21. 1964
27. *Pieris melote* Menétrics
スジグロシロチヨウ
津川町今津 1ex., IV. 14. 1964
津川町佐与谷 1ex., IV. 29. 1964
巨瀬町尾原 1ex., VII. 8. 1964
玉川町玉 1ex., VII. 21. 1964
- LYCAENIDAE
- シジミチヨウ科
28. *Naratlysa japonica* Murray
ムラサキシジミ
津川町今津 1ex., VII. 8. 1964
玉川町玉 1ex., VII. 2. 1964
29. *Artabrotes trveri* Murray
ウラゴマダラシジミ
津川町きつね谷 1ex., V. 25. 1964
津川町今津 1ex., V. 29. 1964
玉川町玉 1ex., VII. 10. 1965
玉川町神崎 2exs., VII. 15. 1965
30. *Japonica lutea* Hewitson
アカシジミ
津川町きつね谷 1ex., V. 25. 1964
津川町今津 4exs., V. 29. 1964
31. *Japonica saebstriata* Hewitson
ウラナミアカシジミ
津川町今津 1ex., V. 27. 1964
津川町今津 4exs., V. 29. 1964
32. *Antigius attilia* Bremer
ミズイロオナガシジミ
津川町今津 1ex., VII. 8. 1964
津川町今津 4exs., VII. 5. 1964
33. *Antigius butleri* Fenton
ウスイロオナガシジミ
巨瀬町尾原 1ex., VII. 7. 1962
玉川町神崎 1ex., VII. 7. 1963
巨瀬町尾原 3exs., VII. 23. 1964
34. *Faonius sathirinus* Stauninger
ウラジロミドリシジミ
津川町今津 1ex., VII. 11. 1964
巨瀬町尾原 2exs., VII. 23. 1964
玉川町玉 1ex., VII. 21. 1964
巨瀬町尾原 2exs., VII. 24. 1965
35. *Faonius orientalis* Murray
オオミドリシジミ
玉川町玉 1ex., VII. 16. 1960
巨瀬町尾原 1ex., VII. 13. 1964
36. *Faonius latifasciatus* Shirozu & Hayashi
ヒロオビミドリシジミ
巨瀬町尾原 4exs., VII. 7. 1962
玉川町玉 1ex., VII. 21. 1964
巨瀬町尾原 4exs., VII. 23. 1964
巨瀬町尾原 2exs., VII. 24. 1965
巨瀬町尾原 2exs., VII. 26. 1964
37. *Ratala ovata* Bremer
トラフシジミ
玉川町玉 1ex., VII. 19. 1963
玉川町神崎 1ex., VII. 7. 1963
津川町今津 3exs., IV. 27. 1964
津川町佐与谷 3exs., IV. 29. 1964

38. *Althea ferrea* Butler
コツバメ
津川町今津 1ex. IV. 27. 1964
玉川町玉 2ex., V. 5. 1965
39. *Lycavo filocas* Linné
ベニンジミ
津川町きつね谷 2ex. IV. 20. 1964
巨瀬町尾原 1ex. VI. 23. 1964
40. *Tarckia lamada* Druce
ゴイシジミ
津川町今津 3ex., VII. 11. 1964
41. *Nitharda fusca* Bremer & Grey
クロシジミ
玉川町神崎 1ex. VII. 7. 1963
松原町春木 1ex. VII. 30. 1964
42. *Lambides boeticus* Linné
ウラナミシジミ
玉川町玉 1ex. X. 30. 1962
43. *Zizeeria maha* Kollar
ヤマトシジミ
津川町佐与谷 1ex. VII. 21. 1964
44. *Maculinea teleius* Bergsträsser
ゴマンシジミ
松原町春木 1ex. VII. 30. 1964
45. *Celestrina argiolus* Linné
ルリシジミ
津川町きつね谷 2exs. IV. 20. 1964
46. *Eueres argiades* Pallas
ツバメシジミ
津川町きつね谷 2exs. IV. 20. 1964

CURETIDAE

ウラギンシジミ科

47. *Curetis acuta* Moore
ウラギンシジミ
津川町きつね谷 1ex. IV. 20. 1964
臥牛山 1ex. V. 3. 1964
玉川町玉 1ex. VII. 17. 1964

LIBYTHEIDAE

テングチヨウ科

48. *Libythea celtis* Passely
テングチヨウ
津川町きつね谷 1ex., IV. 20. 1964
津川町きつね谷 2exs., V. 25. 1964

DANAIDAE

マダラチヨウ科

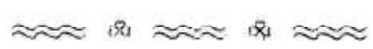
49. *Parantica sita* Kollar
アサギマダラ
臥牛山 1ex. V. 31. 1964

NYMPHALIDAE

タテハチヨウ科

50. *Argyrogonne laedice* Pallas
ウラギンスジヒヨウモン
松原町春木 1ex. VII. 30. 1964
51. *Argyrogonne rufana mats* Chulsky
オオウラギンスジヒヨウモン
松原町春木 1ex. VII. 30. 1964
52. *Argymis pathia* Linné
ミドリヒヨウモン
津川町きつね谷 1ex. V. 25. 1964
津川町今津 1ex. VI. 11. 1964
玉川町玉 1ex. VI. 21. 1964
松原町春木 3exs. VII. 30. 1964
53. *Argymis madymene* C. & R. Felder
クモガタヒヨウモン
津川町佐与谷 1ex. VII. 21. 1964
津川町今津 1ex. VII. 11. 1964
玉川町玉 1ex. VI. 10. 1965
巨瀬町尾原 1ex. VI. 24. 1965
54. *Damora sagma* Double day
メスグロヒヨウモン
津川町きつね谷 7exs. V. 25. 1964
巨瀬町尾原 1ex. VI. 13. 1964
松原町春木 1ex. VII. 30. 1964
55. *Argyrcus hyperbicus* Linné
ツマグロヒヨウモン
玉川町玉 1ex. X. 24. 1959
玉川町玉 1ex. VII. 30. 1963
56. *Lalage comilla* Linné
イチモンジチヨウ
津川町きつね谷 3exs. V. 25. 1964
津川町今津 1ex. V. 29. 1964
57. *Lalage glorifica* Freytorffer
アサマイチモンジ
津川町きつね谷 2exs. V. 25. 1964
玉川町神崎 1ex. VII. 26. 1964
58. *Neptis occis* Esper

- コミスジ
津川町きつね谷 1ex. IV. 14. 1964
津川町きつね谷 1ex. V. 20. 1964
59. *Arasclia burziana* Bremer
サカハチチヨウ
津川町きつね谷 3exs. IV. 20. 1964
津川町長瀬崎 5exs., V. 26. 1964
60. *Polyommis C-caryum* Linnae
キタテハ
津川町今津 1ex. IV. 14. 1964
津川町今津 1ex. V. 8. 1964
61. *Pariska caeca* Linnae
ルリタテハ
玉川町神崎 1ex. V. 26. 1964
津川町今津 3exs. VII. 11. 1964
62. *Nymphalis xanthomelas* Denis & Schifferrmüller
ヒオドシチヨウ
玉川町神崎 7exs. V. 15. 1965
津川町今津 1ex. V. 21. 1965
63. *Vanessa cardui* Linnae
ヒメアカタテハ
臥牛山 2exs., V. 31. 1964
64. *Vanessa indica* Herbst
アカタテハ
津川町きつね谷 2exs. IV. 20. 1964
臥牛山 1ex. V. 31. 1964
65. *Dichorragia nesimachus* Bischoval
スミナガシ
津川町佐与谷 1ex. V. 10. 1964
(同行の雄波君の採集したもの)
66. *Atalanta ilia* Denis & Schifferrmüller
コムラサキ
巨瀬町尾原 1ex. V. 23. 1964
玉川町神崎 1ex. V. 15. 1965
67. *Hestina jethonica* C. & R. Felder
ゴマダラチヨウ
玉川町神崎 2exs. VII. 2. 1964
臥牛山 1ex. V. 15. 1965
68. *Sasabia charonda* Hewitson
オオムラサキ
玉川町玉 1ex. W. 17. 1959
津川町今津 1ex. V. 16. 1964
松原町森木 1ex. VII. 30. 1964
- ヒメウラナミジャノメ
津川町きつね谷 1ex. V. 20. 1964
津川町今津 1ex. VII. 25. 1964
70. *Ypthima mutschelskvi* Bremer & Grey
ウラナミジャノメ
玉川町神崎 5exs. VII. 7. 1963
津川町今津 2exs. V. 8. 1964
玉川町玉 2exs., V. 21. 1964
71. *Minois dryas* Scudder
ジャノメチヨウ
高梁ききょう河原 1ex. V. 21. 1964
松原町森木 1ex. VII. 30. 1964
72. *Lethe sicelis* Hewitson
ヒカゲチヨウ
津川町今津 1ex. V. 18. 1964
73. *Lethe diana* Butler
クロヒカゲ
津川町今津 1ex. IV. 27. 1964
臥牛山 2exs. V. 31. 1964
佐与谷 1ex. VII. 21. 1964
74. *Lethe marginelis* Motschulsky
クロヒカゲモドキ
玉川町玉 1ex. VII. 9. 1959
津川町佐与谷 1ex. VII. 21. 1964
松原町森木 7exs., VII. 21. 1964
75. *Neote goschkevitschii* Menotriess
キマダラヒカゲ
津川町今津 1ex. IV. 27. 1964
津川町今津 5exs. VII. 25. 1964
76. *Mycalesis potama* Moore
ヒメジャノメ
巨瀬町尾原 2exs., W. 13. 1964
津川町今津 3exs., W. 16. 1964
77. *Mycalesis francisco* Cramer
コジャノメ
津川町きつね谷 2exs., IV. 20. 1964
臥牛山 1ex. V. 31. 1964
玉川町神崎 1ex. VII. 3. 1964



SATYRIDAE

ジャノメチヨウ科

69. *Ypthima orcas* Butler

カミキリムシ科採集目録

原 本 語

高梁市玉川町で採集し、現任手もとに保存しているものと、此虫館で展示しているものをあわせて最吉させていただきます。なお同定していただいた青野孝昭、高井博尚氏に感謝致します。

LEPTURINAE

ハナカミキリ亜科

1. *Leptura arcuata tumagarehana*
ツマグロハナカミキリ
V. 5. 1958 花上
2. *Leptura regalis*
オオヨツスジハナカミキリ
VII. 29. 1958

CERAMBYCINAE

カミキリ亜科

3. *Xyetrocera globosa*
アオスジカミキリ
VII. 12. 1960 路上歩行中
4. *Stenogrimum quadrinotatum*
ヨツボシカミキリ
VI. 15. 1959 燈火飛来
5. *Pyroestes haematicus*
クスベニカミキリ
VI. 28. 1959 クリの花上
6. *Semanotus japonicus*
スキカミキリ
VI. 7. 1960
7. *Phymatodes albicinctus*
シロオビカミキリ
VII. 3. 1959
8. *Clytus auripilis*
キンケトラカミキリ
V. 12. 1960 アシサイの花上
9. *Clytus melanus*
シラケトラカミキリ
V. 18. 1959
10. *Cyrtoclytus catricides*
キスジトラカミキリ

VI. 14. 1959 新

11. *Purpuricenus spectabilis*
ヘリグロベニカミキリ
VI. 24. 1960 花上

LAMIINAE

フトカミキリ亜科

12. *Manchavpus saltuarius*
カラフトヒゲナガカミキリ
VI. 1. 1960 赤松の新
13. *Cyrtiola fraudator*
ビロウドカミキリ
VI. 18. 1959 そだ
14. *Uroecha bimaculata*
ヤハズカミキリ
VI. 30. 1959 そだ
15. *Falsomesosella gracilior*
シロオビゴマフカミキリ
V. 31. 1959
16. *Mesosa myops japonica*
ゴマフカミキリ
V. 11. 1959 そだ
17. *Mesosa senilis*
タテスジゴマフカミキリ
VII. 2. 1959
18. *Microtera pitivides*
ヒシカミキリ
V. 22. 1958 枯枝
19. *Atimura japonica*
コブスジサビカミキリ
IV. 26. 1959 新
20. *Photascelis maculatus*
フタモンアラゲカミキリ
VI. 4. 1959
21. *Rhabetoscelis infuscatus*
ヒトオビアラゲカミキリ
IV. 22. 1960 枯枝
22. *Cylindilla griseescens*
ハイイロツツクビカミキリ
VII. 12. 1959 枯枝
23. *Dojus diriviana*

- クイカミキリ
 V. 11. 1958 枯枝
- 24 *Pogonocherus dimidiatus*
 ネジロカミキリ
 IV. 4. 1959 そで
- 25 *Pethyge silacea*
 シロスジドウボリカミキリ
 III. 1963 飛羽中
- 26 *Menesia flavotecta*
 トウキョウヒメカミキリ
 W. 18. 1959 葉上

ほか

- Pogonox transilis*
 トゲヒゲトラカミキリ
 V. 12. 1960 花上 (高梁市小高下)
- Pantoclis tetrasifer*
 モンクロベニカミキリ
 V. 5. 1959 飛羽中(鶏足山)
 があるので報告しておきます。

岡山市・西大寺市のとんぼ

担任まで県下のトンボについてのまとまった報告は、安東氏の作集のトンボ類(すずむし, Vol. 6. No. 2. No. 3. 1957) 58種と片山氏の美作の蜻蛉(岡山と昆虫 1959) 71種の2報告があるのみと思いが、後者の報告については、2, 3の疑問の種も含まれ、またデータが全然明記されていない。今回筆者は岡山市、西大寺市の範囲でトンボをまとめてみた。調査場所は岡山市金山、岡山市金甲山、岡山市竜の口山、岡山大学周辺、西大寺市市奥矢津、を主としている。

AGRIONIDAE

イトトンボ科

- 1 *Aciagrion lisota*
 ホソミイトトンボ
 成虫越冬 各地に普通
- 2 *Ceriagrion melanozum*
 キイトトンボ
 6月中旬～10月中旬 各地に普通
- 3 *Ischnura senegalensis*
 アオモンイトトンボ
 西大寺市新橋付近で採集したが少ない
- 4 *Cercion calamanum*
 クロイトトンボ
 5月上旬～9月下旬 各地に普通
- 5 *Cercion sieboldii*
 オオイトトンボ
 5月上旬～9月中旬 各地に普通

赤 枝 一 弘

- 6 *Cercion hiroyoshiicum*
 セスジイトトンボ
 各地に普通
- 7 *Cetera annulata*
 モノサシトンボ
 5月下旬～9月下旬 各地に普通
- 8 *Cryzoclestes gracilis*
 ホソミオツネイトトンボ
 成虫越冬 やゝ少ない
- 9 *Lestes stenosa*
 アオイトトンボ
 6月上旬～11月上旬 丘陵地に産するが
 やゝ少ない
- 10 *Lestes temporalis*
 オオアオイトトンボ
 6月下旬～11月下旬 丘陵地に普通、発
 生期には極めて多い場所もある。
- 11 *Lestes japonica*
 コバネアオイトトンボ
 前2種に混じて採れる。
- 12 *Symptecia taedisca*
 オツネイトトンボ
 成虫越冬、少ない、手本には次の標本がある。
 岡山市成虫 57. X. 14. 19 赤枝

CALOPTERYGIDE

カワトンボ科

- 13 *Calopteryx virgo japonica*

- アオハダトンボ
5月上旬～7月上旬 少ない種で当地方で
発表された記録は次のみ 岡山大学 1959 W
16 1♀ 赤枝 すずむし Vol. 9. 63
- 14 *Calopteryx atrata*
ハダロトンボ
6月中旬～10月中旬 各地に極めて普通
- 15 *Mnais strigata*
カワトンボ
4月中旬～6月上旬 一般には8月上旬ま
で採れるらしいが、当地方では6月中旬以降
採ったことはない。丘陵地には普通

GOMPHIDAE

サナエトンボ科

- 16 *Gomphus nagoyanus*
ナゴヤサナエ
本種は全国的にも少なく、県下では次の記
録が唯一のものである。
西大寺市元町 1957. 8. 赤枝 すずむし
Vol. 9. 64
- 17 *Gomphus malcenops*
ヤマサナエ
5月上旬～7月上旬 丘陵地に普通
- 18 *Gomphus fryeri*
キイロサナエ
6月上旬～7月中旬 前種に混じているが
本種の方がやゝ多い。
- 19 *Gomphus postocularis*
サナエモドキ
5月上旬～6月上旬 一般にはやゝ少ない
ようであるが竜の口山では普通である。手本
には次の標本がある。
岡山市竜の口山 1959. 5. 3 赤枝
1964. 5. 10. 赤枝
- 20 *Tricomphus intermitus Selys*
フタスジサナエ
4月中旬～6月下旬 各地に普通
- 21 *Tricomphus ogimai*
オグマサナエ
4月中旬～5月下旬 各地に普通
- 22 *Stylaxomphus suzukii*
オジロサナエ
6月中旬～8月中旬 溪流に住み南部では
少なく点々と採れる。岡山市池田公園 1952.
6. 25 水野 昆虫館標本 岡山市竜の口
1956 7. 28. 赤枝 すずむし Vol. 6. 63

23 *Nihonogomphus viridis*

アオサナエ

- 5月上旬～7月上旬 各地に見られるが比
較的少なく、竜の口山では採れない。報告さ
れた記録は江伏のものがある。岡山市津島(岡
大) 58. 5. 26. 赤枝 すずむし Vol. 8.
64
- 岡山市金山 1958. 5. 赤枝 すずむし //
- 24 *Ictinogomphus clavatus*
ウチワヤンマ

6月中旬～9月上旬 各地に普通

CARDULEGASTERIDAE

オニヤンマ科

25 *Anotagaster sieboldii*

オニヤンマ

5月中旬～9月下旬 各地に普通

AESCHNIDAE

ヤンマ科

26 *Plimaeschna milnei*

ミルンヤンマ

比較的稀な種で、報告された県内の記録は、
安東氏の那岐山、後山、と下記のみである。
岡山市竜の口 1956. 9. 18 赤枝 すず
むし Vol. 8. 64

27 *Gynacantha japonica*

カトリヤンマ

7月下旬～10月下旬 各地に極めて普通

28 *Polycanthogyna melanictera*

ヤブヤンマ

5月上旬～9月下旬 比較的少ない種で当
地方からは次の記録がある。

岡山市金甲山 1956. 6. 10. 友野 すずむし
Vol. 6. 62 西大寺市奥矢津 1956. 9. 4.
赤枝 すずむし Vol. 8. 64 岡山市津島(岡
大) 1958. 8. 2. 赤枝 すずむし Vol. 8. 64

29 *Anax nigrofasciatus*

クロスジギンヤンマ

5月上旬～6月下旬 産地は限定されてい
るが個体数は少なくない。

岡山市金甲山 1956. 6. 10. 採集会 すず
むし Vol. 6. 62 岡山市竜の口 1958. 5.
18. 赤枝 すずむし Vol. 8. 64 西大寺市
奥矢津 64. 5. 17. 64. 6. 7. 赤枝

30) *Aeschna hortensis julius*

ギンヤンマ

5月上旬～10月中旬 各地に普通

31) *Aeschna blebba lomastiana*

アオヤンマ

5月中旬～6月中旬 古い池に住む本種はかつては多かったが、現在では非常に少なく、確実な泉下の記録は次の一例のみである。西大寺市奥矢津 1964. 5. 31 赤枝 すすむし Vol. 4. 頁2

CORDULIINAE

エゾトンボ科

32) *Ephedra marginata*

トラフトンボ

4月下旬～6月上旬 各地に分布するが少ない。

33) *Sematochlora uchidai*

タカネトンボ

本種は山地のトンボと思われるが、古く博物の友に鈴木氏の記録があり、近くは友野氏の記録がある。

岡山市周辺 1908. 9. 38 博物の友 56

し 岡山市下石井 1956. 7. 29. 友野 すすむし Vol. 6. 頁2.

34) *Macromia anthigena*

コヤマトンボ

5月上旬～7月上旬 各地に普通

35) *Ethobolus elegans*

オオヤマトンボ

5月中旬～9月上旬 各地に普通

LIBELLULINAE

トンボ科

36) *Lycobasis tachygastra*

ハラヒロトンボ

5月上旬～9月上旬 各地に普通

37) *Orthetrum albistylum steciosum*

シオカラトンボ

4月中旬～10月中旬 各地に極めて普通

38) *Orthetrum iatonicum iatonicum*

シオヤトンボ

4月上旬～6月中旬 各地に普通

39) *Orthetrum triaenulare melania*

オナシオカラトンボ

6月中旬～10月上旬 丘陵地に普通

40) *Libellula moelina*

ベツコウトンボ

5月上旬～下旬 古く博物の友 40に鈴木、佐武氏によって熱帯のトンボの中へ加えられている。また片山氏の奥作のトンボ目録にも本種はあるがいずれも産地のデータは無い。従って本種の産地の分かる確実な記録は瀬前町香登、安東のみであったが昨年筆者が西大寺市で記録した。本種は発生期間が短かく、また、古いため池の減少などから全国的に少なくなっている。

西大寺市奥矢津 64. 5. 10. 18 赤枝

" 5. 17. 18 赤枝

すすむし (林氏によると総社宝福寺で本種が採れたという話を聞かれたという)

41) *Libellula quadrimaculata aschimai*

ヨツボシトンボ

5月上～下旬 本種も古く博物の友に鈴木氏によって、岡山市東方の池のいたるところにいと記してあるが、泉下からは高松市福尚山、水野と勝田郡勝田町 安東 と筆者の岡山市竜の口しか記録がなかった。しかし昨年西大寺市奥矢津の池(まさしく岡山市東方)に多数の本種が産することが分った。当地には別種と混生するが別種より多い。

岡山市竜の口 1954. 5. 24 赤枝 すすむし, Vol. 8. 頁4

西大寺市奥矢津 1964. 5. 10 18 赤枝

" " 5. 17 28 : "

すすむし

42) *Crocothemis servilia*

シヨウジヨウトンボ

5月上旬～9月上旬 各地に普通

43) *Deilinia theon*

コフキトンボ

平地の川に多いが近年減少の傾向にある。

44) *Symptetrum striolatum imitoides*

タイリクアカネ

当地方では次の記録があるのみである。

岡山市金甲山 1956. 6. 10 安東 すすむし Vol. 7. 頁2

45) *Symptetrum darwinianum*

ナツアカネ

6月下旬～12月上旬 各地に普通

46) *Symptetrum frequens*

アキアカネ

7月上旬～12月上旬 前種に混じて得られるが前種より少ない。

47 *Symptetrum eroticum eroticum*
マユタテアカネ

6月下旬～11月下旬 各地に普通

48 *Symptetrum Kunckeli*

マイコアカネ

当地方では稀な種で昆虫館に次の標本があるのみである。岡山市具段山 1956. 6. 24 友野

49 *Symptetrum risi risi*

リスアカネ

6月下旬～10月下旬 各地に普通

50 *Symptetrum infuscatum*

ノシメトンボ 6月下旬～11月上旬 各地に普通

51 *Symptetrum praeile*

ナニワトンボ

7月上旬～11月上旬 極地的に分布するが、産地では一般に多産する。

児島半島一帯、金甲山には多く、西大寺市奥矢津、西大寺市山南地区等に産す。

52 *Symptetrum Steciosum Steciosum*
ネキトンボ

県下での本種の記録は片山氏の奥作、竜の口(赤枝)阿部山(赤枝)総社市八代(林)の4か所のみで竜の口山では1頭採れているのみである。岡山市竜の口 1955. 6. 23 赤枝 すずむし Vol. 7 No. 1

53 *Pseudothemis zonata*

コシアキトンボ

5月下旬～9月下旬 各地に普通

54 *Dantola flavescens*

ウスバキトンボ

7月中旬～10月中旬 各地に極めて普通

55 *Rhyothemis fuliginosa*

チョウトンボ

6月中旬～9月上旬 各地に普通

以上55種が今回の目録であるが、イトトンボ科等は調査不十分である。上記の他に南部で記録されている種を上げると、

○アジアイトトンボ…本種は普通種であるから当地でも採来されていると思うが筆者の手に資料がない。

○グンバイイトトンボ 和気郡関谷

○ハツチョウトンボ 倉敷市呼松町(青野)山手村(安江)山陽町(河定会)

○ヒメアカネ 倉敷市黒田(友野)玉島市弥高山(林)、鴨方町(安東)、岡間山(重井)等の記録がある。

○タバサナエ 本種も普通種であるが、当地ではまだ採ってない。林氏によれば池にオグマ、流水にタバが多いという。

○キトンボ 都窪郡山手村(重井)

○コシボソヤンマ 倉敷市附近、(展示会)があり比較的少ない種であるが、当地でも採来可能である。

発生期については安東氏の資料に筆者の資料を加えて作成した。

林憲一氏にはいつもながら、お教え願ひ点が多かった。

++++ おとしぶみ ++++++

新見市卓間でスジグロチャバネセセリ

1965. VII. 3. ヘリグロチャバネセセリと思って採って帰った中に1頭本種が含まれていた。現在まで知られた本種の産地は上客原、大佐町新庄村、津山市小田中、の西か所と思われ、いずれも北部山地に属する記録であったが、県中部にも産することが分った。なお当日ヒロオビミドリ、ホシチャバネセセリ、も採集した。

(赤枝一弘)

新見市卓間でクロスズメ

1965. VII. 3 本種を1頭採集した。榎本氏の岡山県の戦 Vol. 14. No. 1-(スズメガ科)-によると県下で4番目の記録のようである。

(赤枝一弘)

***** 投稿規定 *****

1. 会員、顧問は“すずむし”に寄稿することができる。
2. 原稿は必ず横書原稿用紙を使用し、1行22字になるように書く(1行20字の普通原稿用紙の場合は、欄外に2字書いて22字にすること)
3. おとしぶみ欄原稿(短報)は欄外に赤字で“おとしぶみ”と明記し、著者名は最後へ()に入れて書く。
4. 学名はできる限り明確に書く。
5. 図版の原稿は必ず、すみ又は黒インキを使用して書く。
6. 図版(写真を含む)は掲載面積にして $\frac{1}{2}$ ページ迄(5×7cm4枚分相当でこれをこえると考えられる場合には、必ず大きさを指定されたい。指定なき場合は編集勝手に委されたものとみなします。)とし、超過図版については実費を申し付ける。

伯耆大山蝶類採集回顧録

難 波 通 孝

伯耆大山と関くと中津地方では誰しもその雄大さ、又採集者にとって昆虫相の豊富なことを思い浮べるであろう。私は今までに当地を計6回訪れたことがあり、蝶類においてその珍品の大半は、大山で標数を増している。彼盛く6月下旬-7月上旬ともなると、珍品の種が多い上に、その個体数も他の地に比べ、ずばぬけて多く、大簇にさえ恵まれれば、休む暇のない程である。まず初めに日程と同行者を記しておく。

①1964年7月3日より5日まで、独行

②1965年7月8日より11日まで、

9日より倉敷昆虫同好会幹事、宇野弘之氏をお迎えする。10日より同昆虫同好会幹事、青野善昭氏をお迎えする。

③1965年7月25日、同行者、倉敷昆虫館会員並びに広島虫の会々員(角甲雅洋)、又広島虫の会々員(山下義雄)

採集日記に入る前に大山にて珍品の最も多くいる場所を私の知る限り紹介して見たい。今後当地を訪ずれば、採集を試みられる方々の参考になれば幸であります。

①アサギマダラ。7月下旬-8月上旬。

大神山。横手道入口より文珠堂間。

②ヒメヒカゲ。7月中、下旬。榊水ヶ原

③ヒメキマダラヒカゲ。7月-8月。大神山

④ウスイロヒョウモンモドキ。7月上旬

榊水ヶ原の中央でなく、両側の杉の中

⑤ウラキシジミ。7月上旬。大神山。元谷

⑥ダイセンシジミ。7月。豪山。横手道。

⑦ウラクロシジミ。6月下旬。榊水ヶ原より文珠堂間、夕刻(4時から5時頃)

⑧ミドリシジミ。7月上旬。大山では稀な種として知られている。本種は大神山、横手道のハンノキで局地にかなり産す。

⑨メスアカミドリシジミ。6月下旬より7月上旬。大神山。榊水ヶ原より文珠堂間の繁み

⑩アイノミドリシジミ。7月上旬。大山寺より横手道入口までの繁み、朝日が良く午前8時より10時頃までが活動旺盛で、繁みの少し開けた所に群飛する。

⑪ジョウサンミドリシジミ。7月上旬。大山で最も多いゼフィルスでアイノミドリと同じ頃が良く、大山寺より横手道入口までのバス道に沿って多産

す。

⑫エゾミドリシジミ。7月上旬。榊水ヶ原より文珠堂間のブナ林に多産す。夕刻でウラクロシジミと同じ頃、樹林高く乱舞している。

⑬ハヤシミドリシジミ。7月上旬。榊水ヶ原の茶店付近のカシワ林で局地的に産するが多くない。

⑭フジミドリシジミ。6月下旬。元谷。早朝日の出前、草々に下りているものを採集。

⑮ヒメシジミ。7月上旬。豪山々々 の草原

⑯ミヤマカラスシジミ。7月下旬より8月上旬。横手道入口より 水ヶ原間。

(採集回顧録)

①1964年7月3日より5日の思い出。

ゼフィルスの最盛期を予想して、2日広島より芸備線の夜行第2ちどりで出かけた。心はずで採集している思いとなり明朝までねむれなかった。

4日朝8時過ぎ待望の大山寺に着く。天候は晴であり採集意欲をはずませた。バスよりおりると、採集用意をするのもいそがしく、一路横手道方面にいそいだ。横手道入口に着くまでのバス道に沿って、いたる所にジョウサンミドリシジミの姿が見えた。初めてネットする本種を、一頭採る度に三角紙に入れていたが、時間が経つにつれて、2、3頭ずつネットするようになった位である。

湿地で吸水している、追い回っている2個体朝日に輝やきながら行っても行ってもその姿はつきなかつた。まもなく沢の少し入った繁みの開けた所でアイノミドリシジミのかたまりを見つけた。

その光景を見るやいなや、ただ私は珍品を前にした私の採集欲は完全に止められたのだ。何しろこのような光景を見たのは生れて初めてであり、その上いまだ本種を見たことはなかったのだから。それは朝日に金のリンアンを輝やかせ、リズムと波に乗った10数本の金色と、緑の線が交叉していたのである。いうまでもなく、アイノミドリシジミとジョウサンミドリシジミとの群がある定期的な時間をおいて目の前を往来するのであった。しばらくの間、採集を忘れた茫然と望んでいたのである。まるで夢かおとぎの国を見ているようで、共に来ていない採集仲間を今すぐにもこの前に連れて来てやりたい思いで、1人で見ている目

分をせいたくたさ感じさせた。2歩道程過ごし
 傾手道方面に足をいそぐ。ジョウサンミドリ、ウ
 スイロオナガシジミ。ヒョウモン類をネットして
 いると、やがて目の前に広大な峠な高原が見えて
 来た。期待していたヒョウモンの仲間、はあちこ
 ちにその姿を見せ、花などの蜜を吸っていた。休む
 暇もなく、峠水ヶ原を走り回り、時々足をつまず
 き草むらの中に埋れる。まるでこの高原を幼い頃
 に帰ったつもりで1心に膝を追いまわったのであ
 る。甲斐地方の特産種であるウスイロヒョウモン
 モドキは、いたる所にそのかよわい飛び方を見せ、
 かなりの数を数えた。約10頭を得、3日間通すと
 40頭を上回っている程だった。しかし残念なこと
 にはこの高原で大山の特産種であるダイセンゴマ
 シジミや、ヒメヒカゲは時期早くその姿を現わさ
 なかった。茶店で少し休み、文殊堂方面へと向ふ。
 途中道の両側に繁るブナ林では、さきほどのジョ
 ウサンミドリシジミに変わってエゾミドリシジミの
 乱舞がいたる所に見受けられ、これまたネットし
 てもつきなかつた。ウスイロオナガ、ウラクロな
 ども時折その姿を見せ少し楽しみに入った所で珍
 品メスアカミドリシジミにめぐり会った。やはり少
 し時期おそく、かなりいたんでいる。同じ道をエ
 ゾミドリ、ジョウサン、ウラクロなどを心ゆくま
 でネットして行くうちに、大山では珍しいミド
 リシジミ1♀を得た。これはと思いつく近を見と、
 なるほどハンノキが目生している。ここで早ばか
 り数頭を得、大山でも局地的ではあるがかなり垂
 することを知った。夕刻峠水ヶ原をかなり下った
 所のカシワ林でハヤシミドリシジミ2♂2♀を得
 た時は、その青色に輝くリンズとその新鮮さに
 胸がおどった。こうして第1日目はすべてを忘れ、
 その日を終えたのである。

4日、早朝5時頃より元谷の珍品フジミドリシ
 ジミを採集に出かけた。他の採集者もその姿を2
 、3見せ、やはり目的の種は同じであった。車々
 の上でかなりいたんでいたが、ここで待望の♂♂
 2♀を得たことはさすがにうれしさをかくしきれ
 なかった。他にウラキンシジミもいたが、めぼし
 いものがない。又前日の金色と緑の魂が忘れら
 れなく、傾手道方面にいそぎ、又もそのおとぎの
 園を目の前にしたのであった。恐らくは一生涯忘
 れることなく、毎年その光景を見に一夏は大山ま
 でネットかついで出かけることであろう。足を運
 ぶて傾手道、峠水ヶ原ではエゾ、メスアカ、アイ
 ノ、ジョウサン、ウスイロオナガ、ウラクロ、又
 ウスイロヒョウモンを殆どとするヒョウモンの類
 を満足するまでネットして、第2日目を終り3日
 目の7月5日も全く同様の光景を望んで、この3

日間を明け暮れた。

毎日の汽車の中では、ゼフィルスだけで400
 は軽く飛んでいたであろう山とつんだ三角紙をい
 くども見ては、後行列車の中で明朝までぬむれな
 かった。現任はこのゼフィルスとヒョウモンの標
 本が、ドイツ製の標本箱におさまり私の目を楽し
 ませ、疲れた神髄を休ませてくれる。

②、1965年7月8日から11日

今年は梅雨が遅れた為か、半年だとゼフィルス
 は少し遅いはずであるが、丁度発生の始りであっ
 た。

梅雨がいまだ流れていたが、運を天にまかせて
 出かける。唯よく第1日目の8日は晴時々曇りだ
 った。大山寺に着きさっそく前年の、金色の光景
 を見た所に直行した。まさかと思っていたが、こ
 こにゼフィルスの見事な光景がまたしても得られ
 たのである。むしろ前年より金色、すなわちア
 イノミドリの数が多く、より見事なものがあつた。
 今回はカメラがおともをして、かなりのカラ
 ー写真を撮った。望遠レンズに接写リングをつけ、
 ファインダーより望めた世界は、また独特の感激
 を与え、思わずシャッターを切り、20枚位はす
 ぐに終ってしまふ。ここで金色のアイノミドリシ
 ジミを300mmの望遠レンズで数枚撮影しジョウサン
 ミドリやウスイロオナガシジミは写真材料にかなり
 役立ってくれた。9日には首放昆虫館理事、宇
 野弘之氏を迎え、又10日には流いて同幹事、青野
 孝昭氏を迎えた。急に活気を出しかけた所、9日
 より天候がくずれ雨に見舞われる結果となり、ネ
 ットがぬれるので、蝶は断念せざるを得なくなり、
 しかたがなく、両氏が採集しておられるカミキリ
 ムシの仲間を採り、マキをあさることとなった次
 弟である。こうして青野氏はフタコブツリハナカ
 ミキリ、カンボウホントラカミキリなどに満足し
 今回を終了し、11日は朝から雨で採集は断念し帰
 途につくこととなった。

③1965年7月25日

今回は広島虫の会で知り合った角中雅洋、山下
 義雄の両君が同行し、その案内役の労にかわられた。

前日まで大雨が降り、交通の便が不安であつた
 が決行する。広島からだて芸海線が不通となり、
 しかたがなく倉敷経由で米子まで向う。25日朝
 9時頃大山寺に着いたが、予想通りゼフィルスは
 完全におそく、その上濃霧に会い、大山寺から大
 山の姿は全く見ることが出来なかつた。完全にお
 せいとはいへ、彼頂した姿を時々見せ、アイノ、
 メスアカ、ジョウサン、エゾ、ウラクロ、ダイセ
 ンなどを数少ないが一通りのものがネットでき、両
 君を安心させた。近詳なものはおさめられていたが、

それでも薄皮を剥す為に一冊ずつ三冊紙に入れていた。こうしていると、思いもかけなかったミヤマカラスシジミが次から次へと採れるようになり、急に活気が満ちて来るのを覚え、それは私の採集材料もなり始つての種に胸がおどった。樹水ヶ原ではヒメヒカゲ、ウスイロヒョウモンモドキなど多く採れないが私の目を惹きました。ここでうわづかに伺っていたフサヒゲツリカミキリ2頭が捕られ、今一度目を輝やかせて付近を這がしたが、もうその姿を憶うられなかった。私は無事案内役

をこなしたので2時頃帰途についた。両君はまだ26日、27日と採集を楽しむこととなり、後日採集物が豊富であることを祈り大仏寺まで別れた。2日後私の寮に立ち寄り採集物を見せていただくと、ゼフィルス、ヒョウモン類、ゴマシジミ1頭、ヒメヒカゲなど好天に恵まれたらしく、7月下旬にしては或多く採集していた。夜かせくまで二人の採集談に花が咲き、その時の胸のとるめきを思い出し、うれしさをわからず合っていたのである。

(1965年9.16日記)

会 員 広 島 便 り

難 波 通 孝

私が当行放昆虫同好会に入会したのは今から3年程前のことである。学生時代の親友である中島孝文氏より蝶の標本を見せていただいたのが縁となり、今なお熱意がおさまらず、広島の山野を日曜ごと走り回っている。幼い頃よりいろいろをものに興味を覚えてきたが何一つ採つづきしななかった。今日のように自分の熱中出来る一生涯の楽しみと研究の限りのないこの趣味を与えていただいた、中島氏には本文に先立ち、心より感謝する次第であります。

私が広島に来て早や1年半になります。すでに当県の山野を6回巡回は歩いている。今は岡山県の山野を今一度となつかしく思い浮かべ、早く岡山に転居することを望んでいる。広島は岡山県より逆に位成する関係で南方系のチョウもかなり採れ、ここに隣県更りとして岡山の蝶、広島のを比較し比べて見ることにした。岡山で採集せられる方々の参考或いは新しい発見の助けになるれば、何より幸せと思ひ本稿に入ることにいたします。

まず採集便りに入る前に(1)広島のお採集地の紹介(2)岡山県にとれず或いは稀な種で、広島に産する或いはかなり産する種について、(3)、(2)と逆の立場について、(4)岡山比較して分布上興味のある種、(5)迷入種或いは記録的な種について私の知る限りすべてを見る。

(1)広島のお採集地と注目すべき種の紹介
佐伯郡宮崎、サツマシジミ、ムラサキツバメ、いづれも多産す。
庄原市三坂山、スキタニレシジミ、ウスバシロチョウ、インガキチョウ、メスアカミドリシジミ、

①佐伯郡冠高原、ウスバシロチョウ、クロヒカゲモドキ、ギンイチモンジセセリ、ハヤシミドリシジミ、
②山県郡恐羅漢山、インガキチョウ、ウラジャノメ、ミヤマカラスシジミ、クロシジミ、アイノミドリ、メスアカミドリ、ジョウサンミドリシジミ。
山県郡下の天人山、御頭山、東八幡原方面
③呉市灰ヶ峰、クロコノマチョウ、インガキチョウ、サツマシジミ、シルビアシジミ、キマダラモドキ、ギフチョウ。

④安芸郡竹中町、サツマシジミ、ムラサキツバメ、ギフチョウ、ナガサキアゲハ。

⑤比婆郡高野町、ヒメシロチョウ、ヒメシジミ、ヒメヒカゲ、ヒロオビミドリシジミ、フジミドリシジミ、オオヒカゲ、ウスイロヒョウモンモドキ、ゴマシジミ、キバネセセリ、

⑥庄原市土塚高原、オオムラサキ、ヒョウモンモドキ、オオヒカゲ、クロシジミ、ゴマシジミ。

(2)岡山県にとれず或いは稀な種で広島県に産する或いはかなり産する種、

①ナガサキアゲハ、南部よりのいたる所に産し所によれば多産す。

②クロコノマチョウ、呉市に多産。

③ミスジチョウ、宮島のモミジ谷にかなり産す。

④ヒロオビミドリシジミ、中、北部のナラガシワ林に点々と産す。

⑤ムラサキツバメ、宮島、及葉山を始めとし、県海にシリブカガシ林に広く産する。

⑥ヒメシロチョウ、高野町に採られて分布し、岡山には産しない。

⑦スキタニレシジミ、4月下旬三坂山に多産す。

④ナツマシジミ、特に宮崎には多産し、南部より分布は広く、岡山には記録がない。

⑤広島県に産せず或いは稀な種で岡山県に産す或いはかなり産する種。

⑥ウラキキシジミ広島では、珍産に産するな種は、岡山で加産すれば多産する。

⑦クロツバメシジミ広島に記録のないな種は、岡山で南部より点々と分布している。

⑧キマダラリツバメ広島の記録はない。岡山では彦出町、勝山町、和気などで知られており興味の深い種である。

⑨ウスイロオナガシジミ、広島では比婆地方以外からは知られないが岡山では景下いたる所で開地内に発生している。

⑩シルビアシジミ、広島では点々と日本町のみであるが岡山の分布は南部より広い。

(11)両県比較して分布上興味のある種。

⑪ギフチョウ、岡山では景北より南部に下らない本種が、広島景下では南部に点々と分布し、所によっては多産する。

⑫キマダラモドキ、岡山県では景北の雄山、雄山あたりで産し、中南部では知られない。広島では南端の呉市灰ヶ峰に多産する。

⑬イシガキチョウ岡山県ではその土着がはっきりしていない本種は広島景下で点々と記録され、恐らく瀬田山付近でかなり産するものと思われ、日本産蝶類分布表にもその土着が認められている。

(15)迷蝶として採集されたもの、或いは記録的な種に次のものがある。

⑭アオタテハモドキ(岡山県津山市)

⑮チョウセンシロチョウ(岡山県倉敷市)

⑯メスアカムラサキ(広島県尾道市)

⑰シータテハ(岡山県瀬原町)

⑱ムモンアカシジミ(広島県山形郡)

⑲タイワンタイマイ(広島県呉市)

⑳ウスイロコノマチョウ(岡山県倉敷市、広島県呉市)

㉑ナガサキアゲハ(岡山県倉敷市)

以上興味ある種について述べて見たが、その他の種、例えばゼフィロスのメスアカミドリ、ジョウサンミドリ、フジミドリ、ハヤシミドリ、ウラクロシジミなどは景北より産し両県大体にかよった分布を示し、オオムラサキ、キバネセセリなども点々と記録されて来る。又産地を分年産相を示す上でも両県似かよっているものにオオヒカゲ、ウスイロヒョウモンモドキ、ゴマシジミ、ヒメシジミ、ウラジャノメ(瀬田山、比婆地方)、クロヒカゲモドキ、クロシジミなどがあげられる。

広島の「新産地」日記より

岡山山野で採集するまで、そのメセセ分布は特としていまままで残してきたが、その中でも珍しい種、あるいは広くとって思ひはさい種についてその日記の一部で紹介したい。

①1964年4月26日(ナガサキアゲハ)広島安芸守中塚宮に広島虫の会幹事、野原隆一氏に紹介で出かけた。雨あかりのうら寂森野であったが、新産地が多くとれた。目的はつくをツツジの花にアゲハ類が多産飛び回っている。付近にはナツダイダイの大きな木があり見ると、飛んでいる個の大部分が本種ナガサキアゲハだった。後述で白い襟を数本なびかせた雌の姿は何人ともいえず、岡山では望み得ない本種にたまたま夢中でネットを張るのみであった。

②1964年4月29日(スギタニツリシジミ)景勝である三段峯までバスにゆられて約2時間30分スギタニツリシジミを目的で広島虫の会幹事に案内していただいた。時期はすでに過ぎていたが、大きなトチノキの下を目立たなく飛ぶ本種、かなり成虫していたとはいえ、やっとのことで得たりる5♀には満足せざるを得なかった。又少し所交ったムラサキマンの目当てでウスバシロチョウ48を併、意気揚々と帰途についた。

③1964年5月5日(ギンイチモンジセセリ)広島の越高原に、ギンイチモンジセセリ採集の為案内していただいたが少し時期が早かったらしく、捜せど捜せどその姿を見つかなかった。あきずにはあきずをたたいていると、ついに羽化したのかよわい飛びかたを目の前に見て、ここで苦労して得た3頭にはさすがにうれしかった。尚当地でウスバシロチョウ28を得、近くのカシワ林にはハヤシミドリシジミが多産することだった。

④1965年5月10日(新産地発見)

ミヤマチャバネセセリを目的で出かけた高田郡白木町にてミヤコグサの上をかよわく飛んでいるシジミチョウを河川の流しにネットして見ると、飛いたことに景下2番目の産地であるシルビアシジミであった。非常に気を良くして半変態がして見たが、この2♀に終わった。その後今までは、12回当地を訪れ再調査並びに発生状況を調べている。

(本稿広島虫の会★報3号)

⑤1964年6月7日(ヒョウモンモドキ)

広島虫の会幹事、鎌原隆氏に案内の誘いを受けて庄原の七塚高原に出向いた。目的はヒョウモンモドキをその姿をいたる所に見せながら採集するのをネットして30頭採集し、その中産卵には成功しなかった。尚当地でオオヒカゲの蛹1つを

採集した。又当惑にてゴマシジミ、クロシジミ、オオヒカゲなどの目撃すべき種も多量である。

㊦1964年6月21日(新産地発見)

従来文献を読みヒロオビミドリシジミを目的で広島県加計町上原に広島虫の会々員二人と出かけた。山は急で尾場は是くなくしたが、アカ、ウクナミアカ、ミスイロオナガせしてウラシロミドリ、ヒロオビミドリと夜を用わしてくると、長いネット振りまわすので夢中だった。そうしている中にあまり見かけないオード色の小さなシジミがすばやく行き来する。もしやと思いとまった所を慎重にネットするとダイセンシジミだった。ここで2♀を得まったく予期しない採集物に胸がはどり目的のヒロオビミドリ採集がダイセンシジミの採集行と変わってしまった。帰って調べると従来県下では洞山県に近い東城に記録があるものとわかり、今一度あの時の感激を思い出した。

(本稿広島虫の会々報3号)

㊧1964年8月2日(サツマシジミ)

特殊な昆虫の分布を示している原生林の島、宮島にサツマシジミを求めて行く。丁度盛夏に当たらしく、樹林間を白く輝きキラキラと飛ぶもの、吸水に来ているものなどがあちこちに見えた。最初はあせって思うように採れなかったが、それでも計12頭を数え、共に同行した角甲雅洋君のごときは私の倍數以上を数えていたのである。又洞山では珍しいムラサキツバメ1♂を得た。本種は宮島では多産し8月6日3♂2♀、8月9日2♂1♀を得ている。シブカガシより別、幼虫をかなり得幼虫は巣を作り、しかもアリガ10枚頭いるので癒のてその発見は容易である。この幼虫は後飼育し羽化にいたらし、又いくつかの生蛹は倉敷昆虫館の諸先生方にもさしあげた。又他の方面でもミヤマトンボ、サツマシジミを初めのごときは南方系の種から県下又中国地方初の種類もかなりの数を数えその昆虫相においては島か原生林の為か注目を要する。

㊨1964年10月18日(クロコノマチョウ)

広島県下においてクロコノマチョウの多産地である呉市に保田信紀氏の御紹介で出かけた。目的地は樹林が繁り、ススキの湿地もあり、付近には小川が流れ、まさしくクロコノマの発生地らしかった。残念なことに成虫は姿を現わさなかったがその蛹ガ2個又生蛹1個体を得、持ち帰り10月21日羽化にいたらした。

㊩1965年5月23日(古崎宇賀映付近調査)

この地域は調査があまりされていなく、その分布を調べに出かけた。当地は採集環境が良く、数々12回の調べによるとサツマシジミを殆ど分布上

到来する種をかなり数えるにいたった。今日が第1回目の調査行である。かなり登った所の杉林でよく深くかなり大きめのシジミチョウが、目の前に飛びだした。驚いてネットを振りまわして付たのが、新産地であるサツマシジミ成虫1♀であり、予期もしなかったこの珍品に飛び上る程の喜びであった。

(本稿広島虫の会々報4号)

㊪1965年8月22日(クロヒカゲモドキ)

私が調査している宇賀映(安佐郡領谷)の付近で近日クロヒカゲモドキが採られたことを知り、当地でもと思い希望を持って一路宇賀映で急いだ。セセリやシジミを追っている樹林の間にまぎれるもない本種クロヒカゲモドキを目撃した。予想通りに満足しその日を終えたのである。又後日の8月28日1♂、8月29日2♂1♀を得、県北でしかとれていなかった本種が当地にもかなり産することがわかった。夕刻ヒカゲチョウと地域せうばいあうがごとく飛びまわり、同じ所に舞いもどっていた。

(本稿広島虫の会々報4号)

㊫1965年7月4日(ヒメシロチョウ、本稿角甲雅洋記)

広島虫の会比婆部幹事でおられる中村真吾氏の御招待により土曜日より出かけた。目的地でつくると草原ははてしなく続き、待望のヒメシロチョウはその可憐な姿を見せ計4♂4♀を得、丁度発生初めだった。又無故に飛ぶヒメシジミはネットに入れてもきりがなく、交尾しているものなど、かなり見られた。ウスイロヒョウモンモドキも3頭を得る。尚当地方は広島県下のほとんどが採集され、県下でこの地方のみというものもかなりあげられ、昆虫相の豊かなことに驚くばかりである。

以上広島からの便りと洞山と広島のチョウ分布について私の知るかぎり御紹介をいたしました。

(1965年9月15日記)

≈ 文 献 ≈

- ①日本産蝶類分布表、白水峰、昭和33.9.10発行。
- ②広島虫の会々報1号、2号、3号、4号。
- ③倉敷昆虫同好会発行、すずむし
- ④VOL.10. 第2.3.4.ウスイロコノマ採集さる。倉敷でクロコノマ採集される。
- ⑤VOL.12. 第3. ナガサキアゲハ倉敷でついで記録される。
- ⑥VOL.13. 第1.4.ムラサキツバメの雄を倉敷で採集
- ⑦VOL.12. 第2.ウラクロシジミ県内に産す。
- ⑧VOL.14. 第2.メスアカミドリシジミの新産地。
- ⑨VOL.13. 第2.ミスジチョウを備中広瀬にて採集

水野弘造

1) ウジロン始末記

初回に学名の話を書いたが、atripennisなる虫がクロチンチムシだと云ったがこれは大間違いで pennis は penis ではなく penna (すなわち、羽根) の複敬降格であった。ゆえに atripennis はクロハネムシであって尚ら恥ずべき名でない。どうも人間が勝手にできているので妙に邪淫して重大なるやまを犯し神聖なラテン語を冒瀆し会員諸兄に御迷惑をおかけしたことを厚くおわび申し上げます。

さて、かように人間がそそっかしく出来ているのは今に始った話ではないが、なにかずく私の人生軌跡を変えるに充分な失敗をやらしたのも虫に関係なかったとは云えない。小学校のとき採ったカラスアゲハやギフチョウの美しさに魅せられたのも間違いの始まりであったろうが、人生について最も真剣に考えるべき大学生時代に間違いをやらしたのだから事は重大と云わねばならない。

つまり事の起りは本誌々上に掲載したところの“冬眠中の夢”と称する一文である。内容は本誌VOL. 9, 11を読んでいただければわかるのでここでは繰り返さないが、要するに人間の排世物を利用してこれでウジムシを飼い、ウジムシを原料に蛋白質再生繊維“ウジロン”を製造しようという話で全く笑話にもならないが、当時このアイデアに夢中になった私は誰彼となく相手を見つけてはこのアイデアを吹揚し将来性を宣伝した。丁度「繊維化学概論」という科目の試験があったのでレポートには大まじめで「将来の繊維ウジロン」について大構想を書いた。この結果は、百数十名の受講者中欠点ももらったのは私一人という思いもかけぬ敗走であった。ところでこの件により虫と植物の会は“Maddester”の称号(日本語で狂士といい、Doctor 博士, Master 修士に当るといふ)を私に與れた(Maddesta 68 参照)。しかしMaddester になっただけで私の興奮は収まらなかった。大学院に入ってから今度は「合成高分子学」か何かのレポートに再びウジロン構想を掲げた。その間二年という年月のおかげで、その構想が微細な部分まで及び表現法にもみがかかっていたことは云うまでもない。その甲斐あってか否か、今度は欠点だけはずかしくなかった。ついに私の構想も世に認められる日が来たと評

んだのはとんでもない見当違いで、結果は就職問題にはね返ったのである。つまり「合成高分子」なる教科については欠点をこそついていたが、成績は「良」なる評価をされたのである。「良」ならば普通ではないかというのは中学校あたりまでで、大学院などでは片眠りしようかざぼろろが授業に出席したというだけで「秀」位わけなく貰えるのであって、おかげで席次は大巾に後退したらしく(もっともこれはこの教科だけのためではないらしいが)第一希望であったM化成にはより成績の良い希望者が多かったため見事にふられ、仕方なく教授のほからいでNレイヨンに就職することになった。ところで驚くべき話であるが、Nレイヨンの工場や研究所は宇治にあったのであった。つまりウジだウジだと騒いだおかげでついにウジに住む羽目になったという次第。因縁とは恐ろしいもので、おかげで以来三年間宇治で合成繊維の研究に従事してはいるが、現実にはきびしいもので、ウジムシから繊維をつくるなどという暇な研究はどうして仲々やらせて貰えそうにもないのである。

2) 再びボウズナガクチキについて

虫の名の話で訂正をしたついでにボウズナガクチキについてつけ加えておく。兩アルプスに住こりもなく三年連続採集を行ったが、今夏やっと待望久しかった本種を大井川上流木賊付近で手にする機会に恵まれた。採ったのは倒木ではなく叩き網で灌木を叩いているうちに落ちたもので、朝寝していたのであろう臼布に落ちてから予想外に逃げ足が遅い。私としては閑暇で先刻未知の虫であり、同類のすばしこさを考え大あわてでつまみ上げようとしたのも当然であろう。ところがこの虫ツルリツルリと指の間をすべってひどくつまみにくい。瞬間私は僧の頭の青くツルリとした現的感(突如にやめた途程がないので強制的に結ぶつかない)を思い起した。標本にしてからつくづく眺めるとやはり足の関節部のみ白く全体黒色の体つきは正にボウズを連想させるに充分ではあるが、命名の由来はもうそれだけでなくLewis自身の採集体感にも感しているものと思われて仕方がない。

目 次

○大木清二：1965年同定会の歳について 1

○高橋清二：神楽の歳（7） 3

○湯本浩：高梁市垂咲類目録 5

○湯本浩：カミキリムシ科採集目録 9

○赤枝一弘：岡山市・西大井町のトンボ 10

ぬぬぬおとしぶみぬぬぬ 13

ぬぬぬ投 稽 規 定ぬぬぬ 13

○難波通孝：伯耆大山味類採集回顧録 14

○難波通孝：会員広場使リ 16

○水野弘造：*Maddester* 雑言録（3） 19

~~~~~ぬぬぬ~~~~~

医 療 法 人

**重 井 病 院**

倉 敷 市 幸 町

TEL 代表 ☎ 3 6 5 5